

# 熊本地震から3ヶ月

## ～震災の矢先に記録的大雨 農林水産被害も深刻

7月14日で熊本地震から3カ月が経過する。地震により被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりの方、そのご家族の皆様には心よりお悔やみを申し上げます。

4月14日午後9時26分、熊本地方（熊本市、益城町周辺）を襲ったこの地震はM6.5、震源の深さ11kmと浅く、震度7の非常に激しい揺れを観測した。発生当初はこの地震が本震であるとみられていたが、気象庁は4月16日午前1時25分ごろ発生したM7.5の地震が一連の地震の本震と発表した。九州地方で震度7の揺れを記録したのは、気象庁の観測が始まって以来であり、日本国内でも震度7の観測事例としては4例目と5例目になった。

地震の発生から2カ月以上が経過した頃、ようやく復興の段階に移った矢先に九州各地を記録的な大雨が襲った。特に熊本県は被害が大きく、地震で地盤が緩んだところに激しい雨が降り土砂崩れが多発した。土砂は田畑にも流れ込み、家屋や農機具、畜舎を押し潰すなど甚大な被害が出た。一連の災害による熊本県の推定被害額は1兆円を超え、そのうち農林水産業の被害額は、県全体の農業産出額の3割程度にのぼる1,500億円と推定される。農業の被害では660ヘクタールの田んぼが被害に遭い、そのうち330ヘクタールは地割れや土手の崩壊などで水が張れず畑作への転換を余儀なくされた。この他にもハウス、畜舎の倒壊、農業機械の損傷により、離農を考える高齢者も少なくない。この様な状況下、熊本県は畜舎を再建する農家には資金の9割、牛の購入には原則5割を補助するなど、高齢者の多い農業関係の補助を手厚くしている。

右写真は益城町周辺。幸いにもこの地域では、田んぼの地割れが少なく田植えが行われていたが、復旧が進まずブルーシートを屋根に張ったままの民家が多い。



左下写真は益城町役場近くの木山神宮（右下写真は震災前の木山神社）。鳥居、本殿などは崩れてしまい撤去されている。復興作業が遅れているのは、木山神宮のはからいで被災者の生活を最優先しているため。被災者の心の平安のためにも、氏神様の一日もはやい復興をお祈り申し上げます。



## 夏休みの自由研究にブルーベリー観光農園はわか？

イチゴにサクランボ、ブドウや桃、梨はたまたリンゴなど季節の折々に楽しめる観光農園があるが、今回は千葉県弊社特約店の眞仲商事株式会社が経営するブルーベリー農園「ブルーベリーキッズ」をご紹介したい。今から8年前に印西市にあるお得意先様の遊休地を利用して大掛かりな土壌改良を施し、多種に渡る1370本の2年生樹木を植えて農園を開場された。ブルーベリーは酸性を好む永年作物にてバークとピートモスをふんだんに投入し土壌を改良、また透水性が良いほど良好な生育となるため透水性と気相率を高めた圃場となるように土壌改良を重ね、圃場はフカフカの状態に仕上げている。除草は人力で行い、看板主力商品の有機化成肥料「ダイヤアミノ」を利用して無農薬栽培を実施している。このような土壌管理だからこそなのだが、夏になれば防鳥よけのシートにカブトムシがわんさと張り付いているそうで知っているお子さんたちは虫取り網も持って来園するのだという。ブルーベリーの品種は約200品種もあるそうなのだが、その中でも農園の気象条件に合うような品種の選抜を日々研究して現在、6月から8月にかけて早生から晩生まで順々に収穫できるように樹が植えられている。植えられている品種の中には親指大くらいの大粒のブルーベリーがたわわに実り、目でも舌でも楽しむことができる。農園内にある事務所では冷凍した朝摘みのブルーベリーをふんだんに使い、ミキサーにかけたブルーベリーの生絞りジュースが購入できる。ほどよい酸味が絶妙でシャーベット状になった実のシャリシャリ感が夏にはぴったりで大変美味しく価値ある一品と言える。事務所の中には観光に訪れた子供たちの感謝の手紙も張られており、リピーターも年々増えているそうだ。1本の樹に約4kgの実がなれば採算ベースに合うそうだが、農園を3名のスタッフで管理・運営してこの3年くらい前から黒字転換出来るような経営が出来ているとのこと。観光農園だけでなく直売も行われておりお土産も買えるようになっている。近くのスーパーや洋菓子店にも卸しており好評を得ているようだ。ブルーベリーは視力回復にも効果があるとされ、最近では冷凍パックで販売され需要が伸びている。関東近郊の話ではあるが、夏休みに子供を連れて行くところがなくて困った親御さんにはぴったりの安近短なネタではないだろうか。夏休みの自由研究として、家族で遊びに行くときに訪れて見るのは如何でしょうか。(取材当日は早生品種の収穫がひと段落ついたところでした。中生から晩生品種は7月中旬から8月のお盆頃にかけて収穫時期となります)



ブルーベリーキッズ農園と眞仲社長



シャリシャリ濃厚ブルーベリージュースで乾杯！

東海地方まで梅雨明けとなり、いよいよ夏到来となりました。炎天下の中、農作業に出られる方は熱中症に十分お気を付け下さい。また、曇っていても湿度が高い時は注意が必要です。こまめな休憩と水分補給で暑い夏を乗り切りたいですね。

編集事務局：南部、助川

電話：03-5275-5511/E-mail：macjournal@mcagri.co.jp URL <http://www.mcagri.jp>